

ブルストロームステージ（BRS）記録シート

A（上肢）・H（手指）・L（下肢）を独立判定し、評価条件と判定根拠を同じ順序で記録します。

A（上肢）・H（手指）・L（下肢）を独立判定し、評価条件と判定根拠を同じ順序で記録します。

患者ID	評価日	
評価者	場所	
診断名／発症日	利き手／麻痺側	
評価時の姿勢	装具・支持	

1. 実施条件（再評価時にそろえる項目）

項目	確認・記録
姿勢	☐ 背臥位 ☐ 端座位 ☐ 立位 ☐ その他:
開始肢位	上肢: 下肢:
教示	☐ 標準教示 ☐ 追加説明あり（内容を右欄へ）
促通・介助	☐ なし ☐ 触刺激 ☐ 誘導 ☐ 支持 ☐ その他:
変動要因	☐ 疼痛 ☐ 疲労 ☐ 注意 ☐ 覚醒 ☐ 時間帯 ☐ その他:

2. BRS判定 (A・H・Lを独立して記録)

部位	Stage（該当を○）					判定根拠・観察
上肢（A）	I	II	III	IV	V	VI
手指（H）	I	II	III	IV	V	VI
下肢（L）	I	II	III	IV	V	VI

Stage目安: I 弛緩 / II 共同運動の出現 / III 共同運動が可能 / IV 分離運動が一部可能 / V 分離運動が拡大 / VI 分離・協調運動が良好

3. 観察ポイント（該当項目にチェックし、必要なら短く追記）

領域	確認項目
運動の特徴	☐ 共同運動 ☐ 分離運動 ☐ 協調性低下 ☐ 連合反応
代償・支持	☐ 体幹側屈 ☐ 体幹回旋 ☐ 肩甲帯挙上 ☐ 勢い ☐ 外部支持
筋緊張・症状	☐ 痙縮 ☐ 疼痛 ☐ 可動域制限 ☐ 疲労 ☐ その他:
再現性	☐ 同条件で確認 ☐ 条件差あり ☐ 再評価が必要

4. 総合所見・追加評価・再評価条件

注意：BRSは回復段階を共有するための順序尺度です。A（上肢）・H（手指）・L（下肢）は独立して判定し、段階だけでなく判定根拠と評価条件を記録してください。正式な判定は、原著および施設で採用している基準を確認してください。